

一般社団法人
京都府臨床工学技士会



01 Real-World
Clinical Relevance

02 Direct Insights
from Medical Experts

03 Data-Driven Product
Optimization

CLINICAL USABILITY WORKSHOP

*A story about falling for a product,
and seeing through to its clinical reality.*

SESSION
SUNDAY, SEPTEMBER
6, 2026 | 13:00-17:00

VENUE
SOFTDEVICE INC.LAB

〒603-8053 京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町41 B-LOCK KITAYAMA
交通アクセス:京都市営地下鉄烏丸線 「北山駅」4番出口 すぐ

申し込みはこちら ↓ ※先着15名まで！



[HTTPS://PEATIX.COM/EVENT/5104557](https://peatix.com/event/5104557)

参加費

京都府臨床工学技士会 会員 無料
日本臨床工学技士会 会員（京都府非会員）¥1,000
その他非会員（メーカー・企業）¥3,000

ORGANIZED BY

KYOTOASSOCIATION
FORCLINICALENGINEERS

COOPERATE SUPPORTERS

SOFTDEVICE.INC
NIPRO CORPORATION
TAKIGEN MFG .CO .,LTD

JMS CO.,LTD
NIHONKOHDEN
CORPOLATION

一般社団法人 京都府臨床工学技士会
組織部 医工連携部会

CLINICAL USABILITY WORKSHOP

*A story about falling for a product,
and seeing through to its clinical reality.*

【医療機器の“使いにくさ”、現場の声を伝えましょう。】

—— 医療機器ユーザビリティエンジニアリング・ワークショップ ——

「このボタン、押し間違いそう…」 「現場ではその動線で使えないよ…」

「修理依頼を受けて確認したら操作方法の間違いだった…」

そんな医療現場（ユーザー）のリアルな声と、開発者（メーカー）の情熱を
ダイレクトにつなぐワークショップを開催します！

「ユーザビリティ評価」とは単なる「使い心地の確認」ではありません。

「法規制への適合」と「現場の医療安全・作業効率化」

「開発コストの最小化」を同時に満たすための極めて重要なプロセスです。

我々CEは現場にいるからこそ開発者が気づけない危険に気づける存在です。
開発者に伝えるときに、完璧な改善案やアイディアを出す必要はありません。

「誰が・どの場面で・何に困り・どんなリスクを感じたか」

この生の文脈を伝えるコツさえ知っていればいいんです。

違和感や現場の課題を未来の安全な機器開発へつなぐ思考法を学びませんか？

開発メーカー・企業の皆様へ

開発室のシミュレーションでは見えない「現場の真実」に触れるチャンス！

この場で、リアルな評価と熱いフィードバックを持ち帰ってください。